別紙－１

建設ＩＣＴ活用計画書（土工）

|  |  |
| --- | --- |
| ICTを活用する  工種・数量 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設生産プロセスの段階 | | 作業内容 | | 採用する  技術番号  （参考） | | 技術番号・技術名 |
| □ | ３次元起工測量 |  | |  | | 1 空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量  2 地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  3 TS等光波方式を用いた起工測量  4 TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  5 ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量  6無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  7地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  8 その他の３次元計測技術を用いた起工測量  　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| □ | ３次元設計データ作成 |  | | | | ※作成した３次元設計データをICT建設機械による施工、若しくは出来形管理に活用する場合 |
| □ | 3Dデータによる施工計画、もしくは設計図書照査 |  | | | |  |
| □ | ＩＣＴ建設機械による施工 | □ | 掘削工 | |  | １　３次元マシンコントロール（ブルドーザ）  ２　３次元マシンコントロール（バックホウ）  ３　３次元マシンガイダンス（ブルドーザ）  ４　３次元マシンガイダンス（バックホウ） | |
| □ | 盛土工 | |  |
| □ | 路体盛土工 | |  |
| □ | 路床盛土工 | |  |
| □ | 法面整形工 | |  |
| □ | ３次元出来形管理等の  施工管理 | □ | 出来形 | |  | 1 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理  2 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理  3 TS等光波方式を用いた出来形管理  4 TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理  5 ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理  6 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  7 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  8 施工履歴データを用いた出来形管理（河床掘削）  9 施工履歴データを用いた出来形管理（地盤改良工）  10施工履歴データを用いた出来形管理（土工）  11地上写真測量を用いた出来形管理  12その他の３次元計測技術を用いた出来形管理  　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □ | 品質 | |  | 1 ＴＳ･ＧＮＳＳによる締固め回数管理 | |
| □ | ３次元データの納品 |  |  | | |  | |

* 1. ＩＣＴ活用工事の詳細については、ICT活用工事実施要領によるものとする。
  2. ＩＣＴ施工技術を活用する場合は、建設ＩＣＴ活用計画書様式の建設生産プロセスの段階チェック欄に「■」を付ける。
  3. ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データとは、作成した出来形管理用3次元設計データから建機施工用に加工・変換するデータ。
  4. 「3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用」において補正係数等の費用計上の対象となる出来形管理は、3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理を実施した場合であり、以下の出来形管理を原則とする。

【3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理】

　・空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理

　・地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理

　・無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

　・地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

別紙－1

建設ＩＣＴ活用計画書（舗装工）

|  |  |
| --- | --- |
| ICTを活用する  工種・数量 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設生産プロセスの段階 | | 作業内容 | | 採用する  技術番号  （参考） | | 技術番号・技術名 |
| □ | ３次元起工測量 |  | |  | | 1 地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  2 トータルステーション等光波方式を用いた起工測量  3 トータルステーション（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  4 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  5 その他の３次元計測技術を用いた起工測量  　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| □ | ３次元設計データ作成 |  | | | | ※作成した３次元設計データをICT建設機械による施工、若しくは出来形管理に活用する場合 |
| □ | 3Dデータによる施工計画、もしくは設計図書照査 |  | | | |  |
| □ | ＩＣＴ建設機械による施工 | □ | 路盤工 | |  | １　３次元マシンコントロール（モータグレーダ） | |
| □ | ３次元出来形管理等の  施工管理 | □ | 出来形 | |  | 1 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理  2 TS等光波方式を用いた出来形管理  3 TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理  4 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  5 その他の３次元計測技術を用いた出来形管理  　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □ | ３次元データの納品 |  |  | | |  | |

1. ＩＣＴ活用工事の詳細については、ICT活用工事実施要領によるものとする。
2. ＩＣＴ施工技術を活用する場合は、建設ＩＣＴ活用計画書様式の建設生産プロセスの段階チェック欄に「■」を付ける。
3. ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データとは、作成した出来形管理用3次元設計データから建機施工用に加工・変換するデータ。
4. 「3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用」において費用計上の対象となる出来形管理は、3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理を実施した場合であり、以下の出来形管理を原則とする。

表層以外については従来手法（出来形管理基準上で当該基準に基づく管理項目）での管理を実施してもよい。

【3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理】

　・地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理

　・地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

別紙－1

建設ＩＣＴ活用計画書（河川浚渫）

|  |  |
| --- | --- |
| ICTを活用する  工種・数量 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設生産プロセスの段階 | | 作業内容 | 採用する  技術番号  （参考） | | 技術番号・技術名 | |
| □ | ３次元起工測量 |  |  | | 1 音響測深機器を用いた起工測量  2 その他の３次元計測技術を用いた起工測量  　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □ | ３次元設計データ作成 |  | | | ※作成した３次元設計データをICT建設機械による施工、若しくは出来形管理に活用する場合 | |
| □ | 3Dデータによる施工計画、もしくは設計図書照査 |  | | |  | |
| □ | ＩＣＴ建設機械による施工 | 浚渫工（バックホウ浚渫船） | |  | | 1 ３次元マシンコントロール建設機械  2 ３次元マシンガイダンス建設機械 | |
| □ | ３次元出来形管理等の  施工管理 | 出来形 | |  | | 1 音響測深機器を用いた出来形管理  2 施工履歴データを用いた出来形管理  3 その他の３次元計測技術を用いた出来形管理  　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □ | ３次元データの納品 |  | | | |  | |

1. ＩＣＴ活用工事の詳細については、ICT活用工事実施要領によるものとする。
2. 注２） ＩＣＴ施工技術を活用する場合は、建設ＩＣＴ活用計画書様式の建設生産プロセスの段階チェック欄に「■」を付ける。
3. ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データとは、作成した出来形管理用3次元設計データから建機施工用に加工・変換するデータ。
4. 「３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用」において費用計上の対象となる出来形管理は、3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理を実施した場合であり、以下の出来形管理を原則とする。

【3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理】

　・音響測深機器を用いた出来形管理

なお、上記以外出来形管理を選択して、３次元座標値を取得する機器を用いた出来形管理を実施した場合も費用計上の対象となるが、工事内容や現場条件等により、実施する必要性については、監督職員と十分な協議を実施するものとする。

建設ＩＣＴ活用計画書（舗装工（修繕工））

|  |  |
| --- | --- |
| ICTを活用する  工種・数量 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設生産プロセスの段階 | | 作業内容 | | 採用する  技術番号  （参考） | | 技術番号・技術名 | |
| □ | ３次元起工測量 |  | |  | | 1 地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  2 トータルステーション（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  3 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  4 その他の３次元計測技術を用いた起工測量  　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □ | ３次元設計データ作成 |  | | | | ※作成した３次元設計データをICT建設機械による施工、若しくは出来形管理に活用する場合 | |
| □ | 3Dデータによる施工計画、もしくは設計図書照査 |  | | | |  | |
| □ | ＩＣＴ建設機械による施工 | □ | 切削オーバーレイ工 | |  | | 1. ３次元位置を用いた施工管理システム（路面切削機） | |
| □ | 路面切削工 | |  | |
| □ | ３次元出来形管理等の  施工管理 | □ | 出来形 | |  | | 1 施工履歴データを用いた出来形管理  2　その他の３次元計測技術を用いた出来形管理  　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □ | ３次元データの納品 |  |  | | | |  | |

注１）　　ＩＣＴ活用工事の詳細については、ICT活用工事実施要領によるものとする。

注２）　　ＩＣＴ施工技術を活用する場合は、建設ＩＣＴ活用計画書様式の建設生産プロセスの段階チェック欄に「■」を付ける。

注３）　　ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データとは、作成した出来形管理用3次元設計データから建機施工用に加工・変換するデータ。

注４） 舗装工（修繕工）においては、「３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用」の費用計上対象外である。

別紙－1

建設ＩＣＴ活用計画書（地盤改良工）

|  |  |
| --- | --- |
| ICTを活用する  工種・数量 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設生産プロセスの段階 | | 作業内容 | | 採用する  技術番号  （参考） | | 技術番号・技術名 |
| □ | ３次元起工測量 |  | |  | | 1空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量  2地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  3 TS等光波方式を用いた起工測量  4 TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  5 RTK-GNSSを用いた起工測量  6 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  7 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  8 その他の３次元計測技術を用いた起工測量  　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| □ | ３次元設計データ作成 |  | | | | ※作成した３次元設計データをICT建設機械による施工、若しくは出来形管理に活用する場合 |
| □ | 3Dデータによる施工計画、もしくは設計図書照査 |  | | | |  |
| □ | ＩＣＴ建設機械による施工 | □ | 安定処理 | |  | １ ３次元マシンガイダンス機能を持つ地盤改良機  2 ３次元マシンコントロール建設機械  3 ３次元マシンガイダンス建設機械 | |
| □ | スラリー撹拌 | |  |
| □ | 中層混合処理 | |  |
| □ | ３次元出来形管理等の  施工管理 | □ | 出来形 | |  | 1 施工履歴データを用いた出来形管理 | |
| □ | ３次元データの納品 |  |  | | |  | |

1. ＩＣＴ活用工事の詳細については、ICT活用工事実施要領によるものとする。
2. 注２） ＩＣＴ施工技術を活用する場合は、建設ＩＣＴ活用計画書様式の建設生産プロセスの段階チェック欄に「■」を付ける。
3. ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データとは、作成した出来形管理用3次元設計データから建機施工用に加工・変換するデータ
4. 地盤改良工においては、「3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用」の費用計上対象外である。

別紙－１

建設ＩＣＴ活用計画書（土工1000m3未満）

|  |  |
| --- | --- |
| ICTを活用する  工種・数量 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設生産プロセスの段階 | | 作業内容 | | 採用する  技術番号  （参考） | | 技術番号・技術名 | |
| □ | ３次元起工測量 |  | |  | | 1空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量  2地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  3 TS等光波方式を用いた起工測量  4 TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  5 ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量  6 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  7 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  8 その他の３次元計測技術を用いた起工測量  　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □ | ３次元設計データ作成 |  | | | | ※作成した３次元設計データをICT建設機械による施工、若しくは出来形管理に活用する場合 | |
| □ | 3Dデータによる施工計画、もしくは設計図書照査 |  | | | |  | |
| □ | ＩＣＴ建設機械による施工 | □ | 掘削工 | |  | | １　３次元マシンガイダンス | |
| □ | 盛土工 | |  | |
| □ | 路体盛土工 | |  | |
| □ | 路床盛土工 | |  | |
| □ | 法面整形工 | |  | |
| □ | ３次元出来形管理等の  施工管理 | □ | 出来形 | |  | | 1モバイル端末を用いた出来形管理  2空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理  3地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理  4 TS等光波方式を用いた出来形管理  5 TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理  6 ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理  7無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  8地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  9施工履歴データを用いた出来形管理（河床掘削）  10施工履歴データを用いた出来形管理（地盤改良工）  11施工履歴データを用いた出来形管理（土工）  12地上写真測量を用いた出来形管理（土工編）（案）（土工）  13 その他の３次元計測技術を用いた出来形管理  　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □ | ３次元データの納品 |  |  | | | |  | |

1. ＩＣＴ活用工事の詳細については、ICT活用工事実施要領によるものとする。
2. 注２） ＩＣＴ施工技術を活用する場合は、建設ＩＣＴ活用計画書様式の建設生産プロセスの段階チェック欄に「■」を付ける。
3. ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データとは、作成した出来形管理用3次元設計データから建機施工用に加工・変換するデータ
4. 「3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用」においては、原則、断面管理にて出来形管理を実施するため、費用計上は実施しない。ただし、受発注者協議の上、面管理にて出来形管理を実施する場合は、補正係数の費用計上の対象とせず、見積により適正額を積み上げるものとする。なお、モバイル端末を用いた出来形管理についても同様とする。

別紙－１

建設ＩＣＴ活用計画書（小規模土工）

|  |  |
| --- | --- |
| ICTを活用する  工種・数量 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設生産プロセスの段階 | | 作業内容 | | 採用する  技術番号  （参考） | | 技術番号・技術名 | |
| □ | ３次元起工測量 |  | |  | | 1空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量  2地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  3 TS等光波方式を用いた起工測量  4 TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  5 ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量  6 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  7 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  8 その他の３次元計測技術を用いた起工測量  　 （ ） | |
| □ | ３次元設計データ作成 |  | | | | ※作成した３次元設計データをICT建設機械による施工、若しくは出来形管理に活用する場合 | |
| □ | 3Dデータによる施工計画、もしくは設計図書照査 |  | | | |  | |
| □ | ＩＣＴ建設機械による施工 | □ | 掘削工 | |  | | １　３次元マシンガイダンス建設機械 | |
| □ | ３次元データの納品 |  |  | | | |  | |

1. ＩＣＴ活用工事の詳細については、ICT活用工事実施要領によるものとする。
2. ＩＣＴ施工技術を活用する場合は、建設ＩＣＴ活用計画書様式の建設生産プロセスの段階チェック欄に「■」を付ける。
3. ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データとは、作成した出来形管理用3次元設計データから建機施工用に加工・変換するデータ

別紙－１

建設ＩＣＴ活用計画書（構造物工（橋脚・橋台））

|  |  |
| --- | --- |
| ICTを活用する  工種・数量 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設生産プロセスの段階 | | 作業内容 | | 採用する  技術番号  （参考） | | 技術番号・技術名 | |
| □ | ３次元起工測量 |  | |  | | 1空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量  2地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  3 TS等光波方式を用いた起工測量  4 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  5 その他の３次元計測技術を用いた起工測量  　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □ | ３次元設計データ作成 |  | | | | ※作成した３次元設計データをICT建設機械による施工、若しくは出来形管理に活用する場合 | |
| □ | 3Dデータによる施工計画、もしくは設計図書照査 |  | | | |  | |
| □ | ３次元出来形管理等の  施工管理 | □ | 出来形 | |  | | 1空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理  2地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理  3ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理  4無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 | |
| □ | ３次元データの納品 |  |  | | | |  | |

1. ＩＣＴ活用工事の詳細については、ICT活用工事実施要領によるものとする。
2. ＩＣＴ施工技術を活用する場合は、建設ＩＣＴ活用計画書様式の建設生産プロセスの段階チェック欄に「■」を付ける。
3. ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データとは、作成した出来形管理用3次元設計データから建機施工用に加工・変換するデータ。
4. 「３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用」において費用計上の対象となる出来形管理は、3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理を実施した場合であり、以下の出来形管理を原則とする。

【3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理】

・地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理

・空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理

・無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

別紙－１

建設ＩＣＴ活用計画書（基礎工）

|  |  |
| --- | --- |
| ICTを活用する  工種・数量 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設生産プロセスの段階 | | 作業内容 | | 採用する  技術番号  （参考） | | 技術番号・技術名 | |
| □ | ３次元起工測量 |  | |  | | 1空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量  2地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  3 TS等光波方式を用いた起工測量  4 TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  5 ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量  6 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  7 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  8 その他の３次元計測技術を用いた起工測量  　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □ | ３次元設計データ作成 |  | | | | ※作成した３次元設計データをICT建設機械による施工、若しくは出来形管理に活用する場合 | |
| □ | 3Dデータによる施工計画、もしくは設計図書照査 |  | | | |  | |
| □ | ３次元出来形管理等の  施工管理 | □ | 出来形 | |  | | 1空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理  2地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理  3 ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理  4 ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理  5 ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理  6無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  7地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  8その他の３次元計測技術を用いた出来形管理  　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □ | ３次元データの納品 |  |  | | | |  | |

1. ＩＣＴ活用工事の詳細については、ICT活用工事実施要領によるものとする。
2. ＩＣＴ施工技術を活用する場合は、建設ＩＣＴ活用計画書様式の建設生産プロセスの段階チェック欄に「■」を付ける。
3. ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データとは、作成した出来形管理用3次元設計データから建機施工用に加工・変換するデータ。
4. 「３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用」において費用計上の対象となる出来形管理は、3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理を実施した場合であり、以下の出来形管理を原則とする。

【3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理】

　・空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理

　・地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理

　・無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

　・地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

別紙－１

建設ＩＣＴ活用計画書（擁壁工）

|  |  |
| --- | --- |
| ICTを活用する  工種・数量 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設生産プロセスの段階 | | 作業内容 | | 採用する  技術番号  （参考） | | 技術番号・技術名 | |
| □ | ３次元起工測量 |  | |  | | 1空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量  2地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  3 TS等光波方式を用いた起工測量  4 TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  5 ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量  6 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  7 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  8 その他の３次元計測技術を用いた起工測量  　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □ | ３次元設計データ作成 |  | | | | ※作成した３次元設計データをICT建設機械による施工、若しくは出来形管理に活用する場合 | |
| □ | 3Dデータによる施工計画、もしくは設計図書照査 |  | | | |  | |
| □ | ３次元出来形管理等の  施工管理 | □ | 出来形 | |  | | 1空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理  2地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理  3 ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理  4 ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理  5 ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理  6無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  7地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  8その他の３次元計測技術を用いた出来形管理  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □ | ３次元データの納品 |  |  | | | |  | |

1. ＩＣＴ活用工事の詳細については、ICT活用工事実施要領によるものとする。
2. ＩＣＴ施工技術を活用する場合は、建設ＩＣＴ活用計画書様式の建設生産プロセスの段階チェック欄に「■」を付ける。
3. ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データとは、作成した出来形管理用3次元設計データから建機施工用に加工・変換するデータ。
4. 「３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用」において費用計上の対象となる出来形管理は、3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理を実施した場合であり、以下の出来形管理を原則とする。

【3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理】

　・空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理

　・地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理

　・無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

　・地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

別紙－1

建設ＩＣＴ活用計画書（浚渫工（港湾））

　当該工事において、建設生産プロセスの各段階でＩＣＴ施工技術を活用する場合は、左端のチェック欄に「■」と記入する。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設生産プロセスの段階 | | 作業内容 | 採用する  技術番号  （参考） | | 技術番号・技術名 | |
| □ | ３次元起工測量 |  |  | | 1 マルチビーム測深システムによる起工測量 | |
| □ | ３次元設計データ作成 |  | | | ※作成した３次元設計データをICT建設機械による施工、若しくは出来形管理に活用する場合 | |
| □ | 3Dデータによる施工計画、もしくは設計図書照査 |  | | |  | |
| □ | ＩＣＴ建設機械による施工 | 浚渫工（ポンプ・グラブ・バックホウ浚渫船） | |  | | 1 ３次元位置を用いた施工管理システムを搭載した建設機械 | |
| □ | ３次元出来形管理等の  施工管理 | 出来形 | |  | | 1 マルチビーム測深システムによる出来形管理 | |
| □ | ３次元データの納品 |  | | | |  | |

1. ＩＣＴ活用工事の詳細については、ICT活用工事実施要領によるものとする。
2. ICT施工技術を活用する場合は、建設ＩＣＴ活用計画書様式の建設生産プロセスの段階チェック欄に「■」と記入する。
3. 具体的な工事内容及び施工対象範囲については、契約後、施工計画の提出までに、発注者へ提案・協議し決定する。
4. ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データとは、作成した出来形管理用3次元設計データから建機施工用に加工・変換するデータ

別紙－1

建設ＩＣＴ活用計画書（基礎工（港湾））

　当該工事において、建設生産プロセスの各段階でＩＣＴ施工技術を活用する場合は、左端のチェック欄に「■」と記入する。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設生産プロセスの段階 | | 作業内容 | 採用する  技術番号  （参考） | | 技術番号・技術名 | |
| □ | ３次元起工測量 |  |  | | 1 マルチビーム測深システムによる起工測量 | |
| □ | ３次元設計データ作成 |  | | | ※作成した３次元設計データをICT建設機械による施工、若しくは出来形管理に活用する場合 | |
| □ | 3Dデータによる施工計画、もしくは設計図書照査 |  | | |  | |
| □ | ＩＣＴ建設機械による施工 | 基礎捨石工 | |  | | 1 ３次元位置を用いた施工管理システムを搭載した建設機械 | |
| □ | ３次元データの納品 |  | | | |  | |

1. ＩＣＴ活用工事の詳細については、ICT活用工事実施要領によるものとする。
2. ＩＣＴ施工技術を活用する場合は、建設ＩＣＴ活用計画書様式の建設生産プロセスの段階チェック欄に「■」と記入する。
3. 具体的な工事内容及び施工対象範囲については、契約後、施工計画の提出までに、発注者へ提案・協議し決定する。
4. ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データとは、作成した出来形管理用3次元設計データから建機施工用に加工・変換するデータ

別紙－1

建設ＩＣＴ活用計画書（ブロック据付工（港湾））

　当該工事において、建設生産プロセスの各段階でＩＣＴ施工技術を活用する場合は、左端のチェック欄に「■」と記入する。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設生産プロセスの段階 | | 作業内容 | 採用する  技術番号  （参考） | | 技術番号・技術名 | |
| □ | ＩＣＴ建設機械による施工 | ブロック据付工 | |  | | 1 ３次元位置を用いた施工管理システムを搭載した建設機械 | |
| □ | ３次元測量 | 完成形状の把握（水中部・気中部） | |  | | (水中部)  1 マルチビーム測深システム、  （気中部）  2 UAVやレーザースキャナーによる測量 | |
| □ | ３次元データの納品 |  | | | |  | |

1. ＩＣＴ活用工事の詳細については、ICT活用工事実施要領によるものとする。
2. ＩＣＴ施工技術を活用する場合は、建設ＩＣＴ活用計画書様式の建設生産プロセスの段階チェック欄に「■」と記入する。
3. 具体的な工事内容及び施工対象範囲については、契約後、施工計画の提出までに、発注者へ提案・協議し決定する。
4. ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データとは、作成した出来形管理用3次元設計データから建機施工用に加工・変換するデータ

別紙－1

建設ＩＣＴ活用計画書（海上地盤改良工（港湾））

　当該工事において、建設生産プロセスの各段階でＩＣＴ施工技術を活用する場合は、左端のチェック欄に「■」と記入する。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設生産プロセスの段階 | | 作業内容 | 採用する  技術番号  （参考） | | 技術番号・技術名 | |
| □ | ３次元起工測量 |  |  | | 1 マルチビーム測深システムによる起工測量 | |
| □ | ３次元設計データ作成 |  | | | ※作成した３次元設計データをICT建設機械による施工、若しくは出来形管理に活用する場合 | |
| □ | 3Dデータによる施工計画、もしくは設計図書照査 |  | | |  | |
| □ | ＩＣＴ建設機械による施工 | 浚渫工（ポンプ・グラブ・バックホウ浚渫船） | |  | | 1 ３次元位置を用いた施工管理システムを搭載した建設機械 | |
| □ | ３次元出来形管理等の  施工管理 | 出来形 | |  | | 1 マルチビーム測深システムによる出来形管理 | |
| □ | ３次元データの納品 |  | | | |  | |

1. ＩＣＴ活用工事の詳細については、ICT活用工事実施要領によるものとする。
2. 注２） ＩＣＴ施工技術を活用する場合は、建設ＩＣＴ活用計画書様式の建設生産プロセスの段階チェック欄に「■」と記入する。
3. 具体的な工事内容及び施工対象範囲については、契約後、施工計画の提出までに、発注者へ提案・協議し決定する。
4. ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データとは、作成した出来形管理用3次元設計データから建機施工用に加工・変換するデータ

別紙－１

建設ＩＣＴ活用計画書（コンクリート堰堤工）

|  |  |
| --- | --- |
| ICTを活用する  工種・数量 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設生産プロセスの段階 | | 作業内容 | | 採用する  技術番号  （参考） | | 技術番号・技術名 | |
| □ | ３次元起工測量 |  | |  | | 1空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量  2地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  3 TS等光波方式を用いた起工測量  4 TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  5 ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量  6 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  7 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  8 その他の３次元計測技術を用いた起工測量  　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □ | ３次元設計データ作成 |  | | | | ※作成した３次元設計データをICT建設機械による施工、若しくは出来形管理に活用する場合 | |
| □ | 3Dデータによる施工計画、もしくは設計図書照査 |  | | | |  | |
| □ | ３次元出来形管理等の  施工管理 | □ | 出来形 | |  | | 1空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理  2地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理  3 ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理  4 ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理  5 ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理  6無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  7地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  8その他の３次元計測技術を用いた出来形管理  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| □ | ３次元データの納品 |  |  | | | |  | |

1. ＩＣＴ活用工事の詳細については、ICT活用工事実施要領によるものとする。
2. ＩＣＴ施工技術を活用する場合は、建設ＩＣＴ活用計画書様式の建設生産プロセスの段階チェック欄に「■」を付ける。
3. ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データとは、作成した出来形管理用3次元設計データから建機施工用に加工・変換するデータ。
4. 「３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用」において費用計上の対象となる出来形管理は、3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理を実施した場合であり、以下の出来形管理を原則とする。

【3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理】

　・空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理

　・地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理

　・無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

　・地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理